

第 38 回天文学に関する技術シンポジウム開催にあたって

国立天文台技術主幹の高見と申します。平成最後の天文台技術シンポに参加くださりまことにありがとうございます。

国立天文台は、日本の天文学の中核拠点として、大学単独では持つことができないような大型望遠鏡の建設と運用、それらを用いた研究などを推進しています。そのなかで、天文学に関する技術シンポは、例年、国立天文台の技術系職員を中心として企画し、国立天文台内外の技術者、研究者に参加いただいて開催しています。

近年、国立天文台の事業は、すばる、ALMA に続いて、TMT へと、ますます国際協力によるもののウエイトが増してきています。国内の事業所においても海外との連携が重要となっています。本シンポジウムでは、その方向性を目指した発表が多くあります。ただし、それだけでなく運用の現場からの問題提起や、台外からは、将来につながる新しい技術提案など、本シンポジウムならではの発表があり、今後の天文学に関する技術について、とてもユニークで面白いシンポジウムになるのではと期待しています。

ぜひ、本シンポジウムでの忌憚のない議論、意見交換をしていただければと思います。

よろしくお願いたします。

国立天文台 技術主幹・技術推進室長 高見英樹